資料－３
（2019.3.29　第 41 回環境安全委員会）

リン含有PCB油前処理設備設置工事の進捗状況

１. リン含有 PCB 前処理設備の概要

東京 PCB 処理事業所（以下「当事業所」という）では、リン化合物含有 PCB 油を処理するため、所内に実証設備を設置し、実機設備内容の確定に向けて実証試験を進めた。実証試験結果及び実機設備の設計については、2018 年 6 月 22 日から 29 日にかけて技術部会で持ち回り審議をしていただき、同年 7 月 13 日開催の東京 PCB 処理事業部会、11 月 15 日開催の第 40 回環境安全委員会で報告済みである。

実機設備は、当事業所内の１階、旧外部洗浄室内を中心に設置する。

今回は、その設置工事について報告するものである。

２. 実機設備の概要

⑴処理方式　　加水分解　＋　静置分離

⑵処理対象物

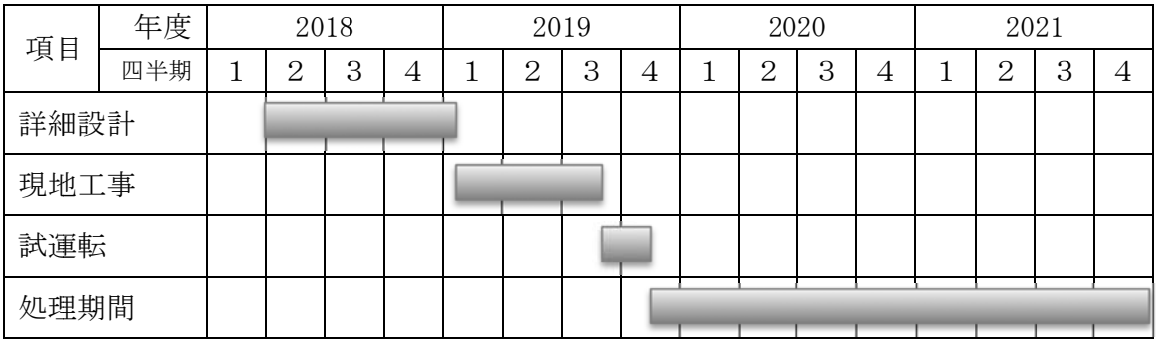
リン含有 PCB 油　事業者保管数量：　268　kL（タンク洗浄液 10 kL を含む）
リン濃度　　：　1.0 ～ 2.4%（保管タンク底からの高さによる）
密度　　：　1.06 ～ 1.16　g/mL（15℃）

⑶処理能力

項　目	処理能力	備　考
リン含有 PCB 油受入量	1,700 L／バッチ	週３～４回受入予定
処理済油量	1,200～670 L／バッチ	処理油のリン濃度等により変化する
廃アルカリ量	660～1,180 L／バッチ	処理油のリン濃度等により変化する

⑷処理条件

項　目	処理能力	備　考
油中リン濃度	130 mg／kg 以下	後処理の運転状況に応じて調整
廃アルカリ中の PCB 濃度	5,000 mg／kg 以下	

３. 今後のスケジュール

官庁手続きの遅れのため、現地工事着工に若干の遅れが出ているが、詳細検討の結果、当初計画に対し大きな変更はない。